



「対話」「実践」「発信」のサイクルにより、北海道における持続可能な社会づくりを応援します！



持続可能な社会づくりを伴走します！
パートナーシップ構築支援

環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業」の採択団体への伴走支援や、自然環境の保全や再生を、社会や経済に結びつける「森里川海」地域意見交換会の開催、ESG金融に関する勉強会などを通じて、地域循環共生圏づくりを支援します。



暮らしと政策をつなぎます！
政策コミュニケーション支援

EPO北海道では、環境保全や持続可能な社会づくりを目指した協働取組の進め方や、政策コミュニケーションの手法などを発信し、研修やパブリックコメントの機会を活用した意見交換の場づくりに取り組んでいます。あなたのまちの環境政策について、市民と行政の対話の場を実施したいというご希望があれば、お知らせください。



多様な環境課題にお応えします！
地域の情報提供・相談対応

環境保全に関するご質問に加えて、SDGs及び地域循環共生圏に関する情報提供や、具体的な取り組みのご相談に対応します。市民活動団体や行政、企業の方からのお問い合わせに広く、電話やメールなどによりお応えしています。



学びの場づくりについて助言します！
ESDアドバイザー派遣

北海道地方ESD活動支援センターでは、学校教育や社会教育に関わる皆さんを対象に有識者を派遣し、ESDやSDGsの導入や実践、現場の課題解決に向けた助言を行う「ESDアドバイザー派遣制度」を運営しています。



地域のESD活動を支援します！
地域ESD拠点

地域ESD拠点（地域ESD活動推進拠点）は、地域においてESD活動を支援・推進する役割を担う組織や団体です。地方ESD活動支援センターは、地域ESD拠点とともに、地域の課題解決や学びの質の向上、SDGs達成に向けた意識・行動変革に取り組めます。北海道では青少年体験活動支援施設、環境学習や中間支援に取り組むNPO、学校教育機関やジオパーク活動団体などが登録しています。

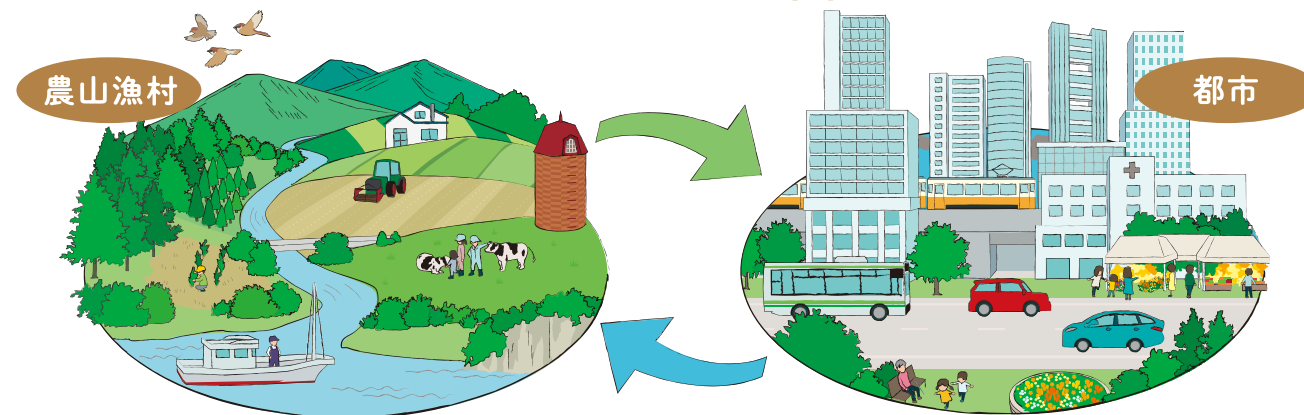


多様な立場から未来を考えます！
北海道メジャーグループ・プロジェクト

SDGsを採択した国連には、誰一人取り残さず、すべての市民が国連の動きに参加できるようにつくられた対話の仕組みがあります。それが「女性」「子ども・若者」「農業者」「先住民」「NGO」「自治体」などの9つのグループを中心とした「国連メジャーグループ」です。北海道では、多様な主体との協働により、このローカル版である「北海道メジャーグループ・プロジェクト」に取り組んでいます。

地域資源を生かした自立・分散型の社会が相互に補完し、支え合う

地域循環共生圏



アクセス

〒060-0042
札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル7階
TEL 011-596-0921 FAX 011-596-0931
営業時間／10:00～18:00
※スタッフが不在となることがあります。
訪問時には事前にご連絡ください。
休業日／土・日・祝日、年末年始

北海道環境パートナーシップオフィス
(EPO北海道)

WEB <http://www.epohok.jp>
E-mail epoh-webadmin@epohok.jp

北海道地方ESD活動支援センター

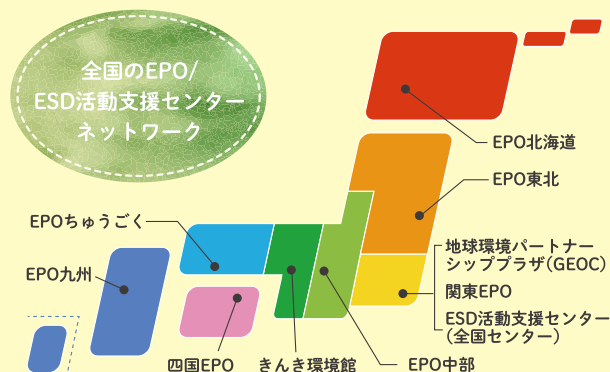
WEB <https://hokkaido.esdcenter.jp/>
E-mail inf@hokkaido-esdcenter.jp

メールマガジン
登録はこちら



お問い合わせは
こちら

市民活動団体や学校、企業・事業者、自治体の皆さんを対象に、SDGs などに関する講師のご紹介や
スタッフの派遣も行っています。お気軽にご連絡ください。



※地方ESD活動支援センターは各地方EPOに併設されています。

環境中間支援会議・北海道



<http://enavi-hokkaido.net>

札幌圏で活動している中間支援4拠点で構成されたネットワーク「環境中間支援会議・北海道」では、道内の環境情報をワンストップで受発信するWEBサイト「環境☆ナビ北海道」を協働運営しています。

【構成4団体】

- EPO北海道 ●公益財団法人北海道環境財団
- 札幌市環境プラザ
(指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)
- NPO法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」